

行政の窓

令和6年度林野庁関係当初予算等について

令和6年度林野庁予算は、令和5年12月22日付けで概算決定され、総額は、3,003億円（対前年度比98%）となりました。また、令和5年11月29日付けで、令和5年度補正予算が措置されました。

このうち、木材産業に関連する主な事業については、下記のとおりとなっております。

《令和5年度補正予算 主要事項の概要》

事業等名	対策のポイント	主な内容
林業・木材産業国際競争力強化総合対策(一部公共) (45,811百万円)	木材産業の国際競争力強化や木材輸出の拡大に向けた原木・木材製品等の生産体制の強化、林業イノベーションの推進、非住宅分野等における木材製品の消費拡大、日本産木材製品等の輸出拡大、林業の担い手の育成・確保を支援	1 林業・木材産業の生産基盤強化<一部公共> ・路網整備、高性能林業機械の導入、搬出間伐の実施、再造林の低コスト化、木材加工流通施設の整備 2 林業のデジタル化・イノベーションの推進 ・航空レーザ計測による森林資源情報のデジタル化、林業機械の自動化・遠隔操作化技術、木質系新素材の開発・実証 3 建築用木材供給・利用の強化(木材製品の消費拡大対策) ・JAS 構造材の建築物への利用実証・普及、CLT を用いた中高層・非住宅建築物の実証、外構部の木質化の推進 4 木材需要の創出・輸出力の強化(木材製品等の輸出支援対策) ・日本産木材製品のプロモーション活動、輸出先国のニーズや規格・基準に対応した製品・技術開発や性能検証、特用林産物の販売促進活動、きのこの知的財産保護の取組 5 林業の担い手の育成・確保 ・新規就業者への体系的な研修、労働安全衛生装備・装置の導入

《令和6年度予算 主要事項の概要》

事業等名	対策のポイント	主な内容
森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策 (14,398百万円)	カーボンニュートラル等を実現し、花粉発生量の削減にも資するよう、川上から川下までの森林・林業・木材産業政策を総合的に推進	1 林業・木材産業循環成長対策 ・路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、搬出間伐 ・木材加工流通施設、木造公共建築物の整備 ・木質バイオマス利用促進施設、特用林産振興施設の整備 2 林業デジタル・イノベーション総合対策 ・林業機械の自動化・遠隔操作化や木質系新素材の開発・実証、森林資源情報のデジタル化、新技術を活用する高度技術者の育成、デジタル林業戦略拠点の構築 3 建築用木材供給・利用強化対策 ・都市部における建築用木材の利用実証・普及、JAS 製材のサプライチェーン構築、製材やCLT を用いた建築物の低コスト化に向けた技術開発や設計・建築実証 4 木材需要の創出・輸出力強化対策 ・木の効果の見える化や木材製品の輸出促進 ・「地域内エコシステム」の展開、特用林産物の需要拡大 5 森林・林業担い手育成総合対策 ・新規就業者への体系的な研修、就業前の青年への給付金支給、林業経営体の労働安全対策 6 「新しい林業」に向けた林業経営育成対策 ・伐採から再造林・保育に至る収支がプラスとなる経営モデルの構築 7 林業・木材産業金融対策 ・意欲と能力のある林業経営者が行う機械導入・施設整備に対する融資の円滑化 8 森林・山村地域振興対策 ・地域住民や地域外関係者による森林の保全管理等

※ 詳細については、次の林野庁ホームページをご参照ください。

令和6年度当初予算：<https://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/R6kettei.html>

令和5年度補正予算：<https://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/R5hosei.html>

(水産林務部林務局林業木材課林業木材係)